

教団新報

定 価 1 部 140 円 (本 体 133 円 千 共 200 円)
予 約 購 読 料 1 年 分 千 共 5,000 円
紙 代 の み 3,500 円
振 替 00140—9—145275
本 紙 を 購 読 ご 希 望 の 方 は、前 金 を
そ へ て、お 近 く の キ リ ス ト 教 書 店
へ お 申 し 込 み 下 さ い。
教 会 の 購 読 料 は 負 担 金 に 含 み ま す。

発 行 所 日 本 基 督 教 団
169-0051 東 京 都 新 宿 区 西 早 稲 田 2-3-18
日 本 キ リ ス ト 教 会 館 内 電 話 03(3202)0546
FAX 03(3207)3918
発 行 人 内 藤 留 幸
編 集 主 筆 竹 澤 知 代 志
印 刷 所 株 式 会 社 き か ん し



3 役 再 選、小 池 書 記、疋 田 議 長、飯 塚 副 議 長

第 59 回 関 東 教 区 総 会 は、大 宮 ソ ニ ッ ク シ テ ィ ー ・ 小 ホ ー ル を 会 場 に、開 会 時 で、正 議 員 263 名 中 183 名 の 出 席 を 得 て 開 催 さ れ た。議 事 の 冒 頭、議 案 20 号、日 本 基 督 教 団 神 の 愛 キ リ ス ト 伝 道 所 開 設 の 件 が 上 程 さ れ、祝 福 の 内 に 承 認 さ れ た。提 案 理 由 に 記 さ れ た よ う に、「長 年 の 伝 道 の 課 題 で あ っ た、稲 敷 市 (霞 ヶ 浦) 南 部 一 帯 の 広 域 農 村 地 帯」に、教 会 が 誕 生 し た。

最 大 の 関 心 を 集 め 議 論 さ れ た の は、他 の 多 く の 教 区 総 会 と 同 様 に「聖 餐 問 題 を 巡 っ て」で あ っ た。疋 田 國 磨 呂 教 区 議 長 は 報 告 で、「聖 なる 公 同 教 会 の 交 わ り に 入 っ た の が 日 本 基 督 教 団 で あ り、歴 史 的 特 質 の 違 い の 中 に も『教 憲 教 規』と『日 本 基 督 教 団 信 仰 告 白』が 一 致 の 核 と な っ て 来 ま し た」と 記 し、ま た、「聖 礼 典 を 巡 っ て 教 団 的 論 議 が 起 き て」い る 時 に「関 東 教 区 の

連 帯 と 一 致 が ど の よ う に し て 保 て る の か、慎 重 に 吟 味 し 対 話 を 続 け る 必 要 を 覚 え ま す」と 結 ん だ。議 長 報 告 に つ い て の 質 疑 も、教 団 問 安 使 の 鈴 木 伸 治 教 団 書 記 と の 質 疑 応 答 も こ の 点 に 集 中 し た。松 谷 好 明 議 員 が 提 案 者 と な っ た 議 案 第 27 号「聖 餐 式 の 正 し い 執 行 に 関 す る 件」は、第 3 分 科 会 と 本 会 議 で 審 議 さ れ た が、「違 法 聖 餐」絶 対 反 対 の 立 場、推 進 す る

立 場、違 法 と 決 め 付 け る 根 拠 は な い と 同 情 的 な 立 場、分 裂 を 回 避 す る こ と が 何 よ り も 大 事 だ と す る 立 場 と、三 不 一 致、互 い に 譲 ら な い 議 論 が 続 き、時 間 が な っ た。疋 田 議 長 が「議 論 を 深 め る た め に、常 置 委 員 会 に 付 託 し て の 継 続 審 議」を 提 案 し 可 決 さ れ た。「ナ ル ド の 壺 献 金」推 進 の 件、「会 堂・牧 師 館 建 設 緊 急 貸 出 基 金」献 金 推 進 の 件、 「教 育 費 互 助 基 金」献 金 推

進 の 件 に は、互 い に 支 え 合 お う と す る 関 東 教 区 の 特 徴 が 現 れ て い た。関 東 教 区 が 長 い 時 間 を 費 や し て 独 自 の 取 り 組 み を 重 ね て 来 た、「日 本 基 督 教 団 罪 責 告 白」作 成 特 設 委 員 会 の 報 告 で は、「第 58 回 総 会 で の 20 号 議 案 修 正 案 を め ぐ る 要 望 書 の 件」に つ い て、激 し い 議 論 が 交 わ さ れ た。「旧 6 部・9 部 の 弾 圧 の 歴 史」と 教 団 常 議 員 会 の 教 師 退 任 決 議 と を 重 ね る よ う な 表 現 が あ っ た こ と の 処 理 に つ い て、「取 り 下 げ ら れ た か ら 解 決 し た で は す ま な い」と 対 応 に 厳 し い 抗 議 が 述 べ ら れ た。ま た、こ れ を き っ か け

に、「罪 責 告 白」と「旧 6 部・9 部 の 弾 圧」に つ い て、広 範 囲 に 議 論 が な さ れ た。次 年 度 総 会 に 提 案 さ れ る 予 定 の 日 本 基 督 教 団 罪 責 告 白 文 (草 案)と「日 本 基 督 教 団 罪 責 告 白」札 拜 式 草 案 が 総 会 議 案 書 に 掲 載 さ れ た。「新 潟 県 中 越 地 震・新 潟 県 中 越 沖 地 震」被 災 教 会・被 災 地 支 援 推 進 に 関 す る 件 で は、莫 大 な 借 入 金 を 少 人 数 の 会 員 で 担 う 現 実 な ど、今 な お 苦 難 は 続 い て い る こ と が 明 ら か に さ れ、今 後 の 協 力 体 制 が 決 議 さ れ た。そ の 他、二 日 間 の 日 程 び つ し り と 沢 山 の 議 事 が 盛 り 込 ま れ た が、分 科 会 方 式 の

効 果 か、議 事 は 比 較 的 スム ーズ に 運 ば れ た。三 役 選 挙 で は、疋 田 國 磨 呂 議 長 (大 宮) が 圧 倒 的 な 票 数 を 得 て 再 選 さ れ、飯 塚 拓 也 副 議 長 (竜 ヶ 崎)、小 池 正 造 書 記 (東 新 潟)、平 山 正 道 宣 教 委 員 長 (四 條 町)、四 役 全 員 が 再 選 さ れ た。常 置 委 員 選 挙 結 果 【教 職】秋 山 徹 (上 尾 合 同)、石 橋 秀 雄 (越 谷)、熊 江 秀 一 (新 津)、三 浦 修 (埼玉 和 光)、塚 本 潤 一 (高 崎) 【信 徒】大 島 健 一 (大 宮)、滝 川 英 子 (七 里)、内 山 一 (鹿 島)、佐 久 間 文 雄 (志 木)、和 田 献 一 (氏 家) (新 報 編 集 部 報)

「聖礼典の正しい執行」で白熱

関 東

2009 年 度

教区総会報告

沖 縄・関 東・東 中 国・東 北・奥 羽・東 海・東 京

3

「距離を置く」ことと 教団問安使との相克

沖 縄

第 65 回 沖 縄 教 区 総 会 は、5 月 24 日 か ら 2 日 間、沖 縄 キ リ ス ト 教 セ ン タ ー で、開 会 時 正 議 員 45 人 中 42 人 が 出 席 し て 開 催 さ れ た。議 事 に 入 っ て 早 々、教 団 問 安 使 に 関 す る 質 問 が あ り、常 置 委 員 会 報 告 で 扱 う こ と と し た が、常 置 委 員 会 報 告 を 待 つ こ と な く、続 い た 議 長 報 告 で こ の 問 題 が 浮 し た。村 椿 嘉 信 議 長 は、「教 団 と い つ ま で 距 離 を 置 き 続 け る の か、ど の よ う に 距 離

を 置 く の か に つ い て、決 ま っ た 答 え が あ る 訳 で は な い。そ の 都 度、教 団 の 動 き を 見 守 り な が ら、場 合 に よ っ て は 沖 縄 教 区 か ら 声 を 上 げ な が ら、相 互 批 判 的 な 関 係 を 築 く た め に 主 体 的 に 判 断 し て 行 く」と「中 間 報 告」と 題 し た 議 長 報 告 で 基 本 姿 勢 を 明 ら か に し た。

議 長 報 告 は 他 の 議 案 を 挟 ん で 2 日 目 に 及 ん で 続 け ら れ、村 椿 議 長 は 2 日 目 午 前、教 団 と の 関 係 に つ い て、議 長 を 1 年 間 務 め て『距 離 を 置 く』と は 矛 盾 し た 立 場 に あ る こ と を 痛 感 し た。今 の 状 況 下 で は 距 離 を 置 か ざ る を 得 な い が、こ れ か ら ど う す る か は「一 緒 に 考 え て 行 く べ き だ。教 区 内 が 対 立 し て 教 区 の 方 針 が 定 ま ら な い の は 残 念 で、い つ ま で も 距 離 を 置 い て い い」と い う 状 態 で は な く、作 業 を し な け れ ば な ら な い 時 期 に 来 て い る と 判 断 し た。三 役 は 今 総 会 に 教 団 問 安 使 を 受 け 入 れ よ う

と 判 断 し、常 置 委 員 会 に 提 案 し た」と 三 役 が 教 団 問 安 使 受 け 入 れ に 踏 み 切 っ た も の の、そ の 後 常 置 委 員 会 で 否 決 さ れ た 経 緯 を 説 明、十 数 分 間 に わ た り 心 情 を 吐 露 し た。引 き 続 い た 常 置 委 員 会 報 告 で も こ の 問 題 は 続 き、問 安 使 を 呼 ば う と 判 断 し た こ と は、状 況 が 良 く な っ た と 判 断 し た の か、そ れ と も 反 対 を 薄 め て 教 団 と よ り を 戻 そ う と し て い る の か」と 議 長

の ス タ ン ス を 問 う 質 問 に 対 し、村 椿 議 長 は、「議 長 就 任 後、山 北 宣 久 教 団 総 会 議 長 か ら『個 人 的 で も 非 公 開 で も い い か ら 会 お う』と の 電 話 が あ っ た が、私 は 個 人 的 に 話 す こ と は 意 味 が な い と 考 え て 来 た。今 後 ど う す る か は 議 場 が 判 断 す る こ と だ が、そ の 判 断 を す る た め に、問 安 使 に お 出 で 頂 い て じ つ く り 話 を 聞 き、そ の 上 で 皆 さ ん で 決 め て 欲 し い と い う の が 私 の 真 意 だ」と 答 え た。議 場 は こ の 議 長 の 説 明 を 受 け 入 れ、収 拾 し た か に 見 え た。

と ころ が、2 日 目 午 後 の 議 事 冒 頭「配 布 さ れ た 山 北 議 長 挨 拶 の 中 に『沖 縄 問 安 が 実 現 す る こ と に な っ た』と 書 か れ、教 団 新 報 も 山 北 議 長 沖 縄 問 安 の 日 程 を 掲 載 し て い る」と の 緊 急 質 問 が 出 て 再 燃 し た。村 椿 議 長 は、「教 団 問 安 使 を ど う お 迎 え す る か い ろ ろ の 準 備 し て い た。教 区 総 会 で こ れ が 入 れ ら れ な い と き は、議 長 を 辞 す る こ と も 覚 悟 し て い た。教 団 事 務 局 と 連 絡 を 取 っ て

い た の は 事 実 だ が、そ の 前 に 常 置 委 員 会 議 論 す べ き だ と 判 断 し た。今 回 の 不 手 際 を お 詫 び し た い」と 述 べ、こ の 問 題 は よ う や く 決 着 し た。総 会 は、教 団 問 安 使 問 題 と、昨 年 同 様、予 算・決 算 の 処 理 を 巡 っ て の 論 議 に 大 半 の 時 間 を 割 く こ と と な っ た。08 年 9 月、常 置 委 員 会 決 議 で 始 ま っ た 教 区 宣 教 方 針 改 定 は、今 総 会 で 協 議 会 が も た

赤 字 を 続 け て い る セ ン タ ー 1 階 の レ ス ト ラ ン は 本 年 6 月 で 閉 鎖 す る 方 針 が 報 告 さ れ た。総 会 で 1 名 の 准 允 式 が 執 行 さ れ、09 年 度 予 算 の 資 金 不 足 は、前 年 度 同 様、「研 修 セ ン タ ー な き じ ん」資 金 を 繰 り 入 れ る 議 案 が 承 認 さ れ た。(永 井 清 陽 報)



教 区 宣 教 方 針 改 定 の た め の 協 議 会 合 意 形 成 は こ れ か ら

お 知 ら せ
「教 団 新 報」、今 号 4677・78 号 を 合 併 号 と し、4679 号 は 7 月 25 日 に 発 行 致 し ま す。
総 幹 事 内 藤 留 幸

「中期宣教計画」立案へ

東中国

童謡「ふるさと」作曲者の岡野貞一の受洗教会であり、今年創立120周年を迎える鳥取教会を会場に、第58回東中国教区定期総会が5月25、26日、開催された。開会時出席正議員は94名中67名。

開会礼拝説教で橋原正彦牧師（鳥取教会）は、9年前に前任地で関東教区第50回総会の開会礼拝を通してチャレンジを受けたことを語った。その際に古屋安雄牧師が、日本の教会のクリスチャンは、説教を聞くことに偏り信仰が頭だけの知識に留まり、生活と全存在に信仰が身に着いた「キリストの弟子」に成りきっていないと述べたことを紹介した。

川崎善三牧師（米子錦町教会）司式により聖餐式が執り行なわれた。議長報告では宮崎達雄議長が述べられた。

議長が「2014年以降、人数的に財政的に教会の存立が厳しくなっていく教会の増加が予想される」と厳しい見通しを語った。

また昨年度「部落解放全国会議」の教区内開催、「教区の集い」の盛会が感謝と共に述べられた。さらに教団の中での教区としての課題に関して、現状認識と見解が述べられた。

質疑では教区内教会の諸課題、また教区総会欠席が常態化している諸教会への執行部の取り組みを問う意見等が出された。

教団問安使挨拶として佐々木美知夫教団総会副議長が教団議長挨拶を朗読、質疑が行なわれた。「伝道協力と一致」の具体的計画を求める意見、公式ホームページについての質問、教区活動連帯金の現状をふまえた要望等が出された。出席



み言葉の奉仕者としてキリストの教会の補教師に

的賛成多数で可決された。

議案12号「人権問題特設委員会の働きを継続させる件」、その社会委員会への統合提案として議案13号「教区規則変更に関する件」が一括上程された。議案形式に疑義を呈する反対意見、賛成の上で予算額突出へ懸念を表明する意見、それに

対し両委員会合算経費は前年度より抑えられていると

の反論もなされた。動議により無記名投票で採決され、3分の2以上の賛成により可決。

教区センター組織運営を再検討へ

東北

第64回東北教区総会は5月26、27日、仙台青葉荘教会及び、東北教区センター「エマオ」を会場に開催された。開会時出席正議員は151名中120名。

開会礼拝では「神の前にとどまっている」信仰共同体として、教区の主にある宣教協力を御言葉より確認化を図るものであり、圧倒

教区の宣教を共に担う

奥 羽

第64回奥羽教区総会は、5月26、27日、奥羽キリスト教センターを会場に、正議員110名中、開会時で106名の出席をもって開催された。この数字は、初日の選挙等を通じて変わらなかった。2日目朝8時30分から行われた追悼礼拝でも、出席率は90%を越えた。ここに奥羽教区の姿勢として伝統をうかがい知ることが出来るように感じた。

教区議長報告は、A4版びっしり6ページになる詳細で具体的なものであった。邑原宗男議長は全文を朗読、その前半部分は、過疎化、財政難に苦しむ奥羽諸教会の現状が滲み出るような表現が目立った。しかしその中でも「教区の宣教を共に担う」ことが強調された。「一教会一牧師の維持困難：現実的になる中で：男鹿教会と八郎潟教会の宣教協力（兼務）は、：（ただ経済事情によるものとは）事情が異なり、新しい宣教協力体制に期待をつな

宮崎達雄（倉敷）、《副議長》宮川経宣（岡山信愛）、《書記》指方信平（旭東）。常置委員選挙結果

【教職】宇野稔（倉敷水島）、橋原正彦（鳥取）、八東潤一（米子）、井上孝仁（岡山）

【信徒】土井しのぶ（高梁）、太田直宏（岡山）、松田章義（鳥取）（松本周報）

教区センター組織運営を再検討へ

でも幾度か第二種教会設立の機運はあったが、塚本恭子教師就任後、その実現に向けて伝道計画と教会計画を策定し2008年度定期総会において『第二種教会設立への取組み』を全会一致で可決、親教会である仙台長町教会定期総会においても『名取伝道所の第二種教会設立の節目節目には勿論、選挙の度に、議案可決の度に、頻繁に祈りがなされた。

一方、同じく議長報告の教団関係の項目では、特に、「教師退任勧告決議」や「教師戒規執行申し立て」のこのと、教区活動連帯金、更に沖縄教区との関係回復への働きかけなどで、現教団執行部への不信・不満・批判が激しい調子で語られた。教団問安使挨拶と関連して、聖餐式と教憲・教規違反のことが重ねて議論された。障がいを持つ人々が多数礼拝出席している教会の信徒議員は、「知的な障がい

教会設立承認の件」が承認された。その後臨時総会により教会規則を承認し設立申請の運びとなった」との説明があり、教会設立の喜びを分かち合うひとときとなった。

また2日目の議事では、教区センターの今後について扱われた。2年間にわたるプロジェクト委員会や検討委員会の作業を経て、東北教区センターの規則及び組織並びに運営等について再検討する件（第63回教区総会提出議案）と、教区センター建物改修のため教区積み立て金より生じた利息を援助支出する件（第62回教区総会提出議案）とを併せて期総会へと継続し、併せて『新教区センター組織設立準備室』（仮称）を常置委員会のもとに置く件」が可決された。常置委員会は、新教区センター組織設立準備を位置づける際に明確化するべき諸条件について述べられた。その他、プロテスタント伝道開始150年をめぐって、ベッテルハイム琉球伝道の捉え方や教団と沖縄教区との関係の改善、教団の教勢低迷や信仰職制的一致など、教団の直面する諸課題について、活発な質疑応答がなされた。



鈴木書記、高橋議長、宮崎副議長

組織・運営または規則案について検討なさしめ、本年度秋頃までに答申をさせる。それを受けて常置委員会が関係諸機関と調整の上、次年度総会にしかるべき議案を提案することになる。

教団問安使・山北宣久教団議長挨拶においても、質疑の中で、教団にセンターを位置づける際に明確化するべき諸条件について述べられた。その他、プロテスタント伝道開始150年をめぐって、ベッテルハイム琉球伝道の捉え方や教団と沖縄教区との関係の改善、教団の教勢低迷や信仰職制的一致など、教団の直面する諸課題について、活発な質疑応答がなされた。

また准允式が執行され、

任を持つという姿勢を打ち出し、洗礼式を執行した」と述べ、洗礼そのものが開かれていないから、今の形の聖餐式が障がいを持った人を疎外することはない」と答弁した。

追悼礼拝では、教区からの問い合わせに応じた諸教会員全員の、氏名、逝去年齢、所属教会、教会での役割が朗読された。

三役選挙は、邑原議長（江刺）5選、松村重雄副議長（弘前南）3選、岡村宣書記（鷹巣）も3選とされた。

常置委員選挙結果【教職】雲然俊美（秋田桜）、願念望（青森松原）、山口



松村副議長（3選）、邑原議長（5選）、岡村書記（3選）

【信徒】鈴木努（秋田高陽、辺地）

義人（男鹿）、白戸清（野千春）（秋田桜）

松尾亨（青森松原）、浅沼千春（秋田桜）（新報編集部報）

【教職】小西望（仙台北）、原裕（天童）、望月修（仙台北瀬河畔）

【信徒】志藤仁一（山形本町）、石田サタ子（安積）、菊池護（いずみ愛泉）（松本のぞみ報）

新四役誕生

東海

5月26日(火)～27日(水)、第87回東海教区定期総会が山梨県笛吹市のホテル君佳を会場に行われた。議長205名中、172名が出席し、成立が宣言された。今総会で常任中心に置か

れたことは、2006年に発覚した「教区会計責任・横領事件」である。議長報告の中の関連する記載と、元会計担当者が4月12日付で教区に当てた謝罪文が読み上げられたことを受け、質疑がそこに集中した。

会計や互助に関する問題の中でも、横領に関して言及されることがしばしばあった。議長報告への質問に対して、北紀吉議長から元会計担当者が戒規を受けてから、今年2月に戒規を解くまでの間、在籍する教会の牧師などと共に指導に当たった経過が丁寧に説明された。また、互助に関して献金を募ったことに関して、横領で失われた基金とは無関係であること、これからも積極的に融資をしていきたいという方針であることが語られた。元会計担当については、現在教会を移り、悔い改めて礼拝生活を送っていることも報告された。

この件に関しては、二元会計を総会に召致して説明を求めたい」とする議案も提案された。この件に

細部に亘って活発な議論が行われた。この件に関しては第二読会の第2分科会で議論され、修正案が出されたが、セコンドがつかず、原案通り承認された。

問安使の挨拶に対しては「プロテスタント伝道150年」に対して「ベッテ道厚生規則」の中の「教区互助細則」が改訂された。

と、この件に亘って活発な議論が行われた。この件に関しては第二読会の第2分科会で議論され、修正案が出されたが、セコンドがつかず、原案通り承認された。

宮本義弘(沼津)。常置委員選挙結果【教職】森田恭一郎(遠州栄光)、北紀吉(愛宕町)、小林真(遠州)、鷹澤匠(信州)。

【信徒】的場武彦(下田)、原田勇(伊那坂下)、塩入隆(長野本郷)、増田伸子(静岡一番町)。(辻順子報)

教区活動連帯金拠出留保可決

東京



松木田副議長、小出議長、宮本伝道委員長、宇田書記

第68回東京教区総会が、5月26日、富士見町教会を会場にして開催された。開会時、出席正議員は、501名中318名。

藤村和義牧師(渋谷)の説教によって開会礼拝を献げた後、午前中は来賓、教区間安使等の挨拶を受けた。午後に入り、三役、常置委員半数改選選挙と並行して審議が始まった。

長崎哲夫議長は、議長報告の中で教区活動連帯金について触れ、教区間の信頼に基づいてこれまでこの制度の維持に精一杯協力してきたが、しかし、08年度秋に開催された教区活動連帯金配分協議会において諸教会の実情に遺憾の意を表明したうえで、09年度教区拠出を留保することとした、と報告した。

現在も尚、一部常議員や教区議長が糾弾していること、阪神淡路大震災救援金等にかかわる諸問題を当該教区が明らかにしないこと、「教団との一定の距離を置く」とした教区が教区活動連帯金や教団一般会計の当該教区宣教連帯金を受け取る等」。

連帯金拠出留保については議長報告以外では、特に予算審議において賛同意見が相次いだ。拠出留保に反

対する意見としては、連帯金のための予算として1,600万円を計上しているながら拠出しないというのは総会決議に反している、連帯金受給教区である地方教会の実情を理解しての留保か、というところ集中した。これに対して、教区間教会間の本来的な信頼関係があればいつでも拠出することにはやぶさかではないが、現状では留保せざるを得ない、連帯金も各教会、教団員の献金であることを考えるべき等の賛成意見が述べられた。予算案は、09年度連帯金拠出を留保することを確認したうえで、原案通り可決した。

67教区総会では、隠退教師のための施設「信愛荘」(東京・青梅)と「にじのいえ」(千葉・館山)の合併準備作業に入るため委員会立ち上げを決議したが、この一年の委員会報告がなされた。以下が報告の主な事項である。09年度に合併を行い、名称を「日本基督教団にじのいえ信愛荘」として所在地を信愛荘の現在地とする。施設建て直しの予算を2億円とし、7,500万円づつを現両施設が負

担したうえで、5千万円を募金することが報告された。北支区提案の教区総会における支区報告について、常置委員会への支区長陪席については、それぞれ否決した。これに対して、教区間教会間の本来的な信頼関係があればいつでも拠出することにはやぶさかではないが、現状では留保せざるを得ない、連帯金も各教会、教団員の献金であることを考えるべき等の賛成意見が述べられた。予算案は、09年度連帯金拠出を留保することを確認したうえで、原案通り可決した。

九州 地方教区の豊かさを 深澤 奨

山あいの小さな町の小さな教会をお訪ねしたら、二人の信徒が迎えてくださいました。一人はホーリネスの信仰を持ち、商店街の一角にある自宅を開放して熱心に伝道続ける女性、一人は「社会派」で有名だった牧師の薫陶を受けて育ち、今も社会的な課題に精力的に取り組む女性。この二人がタッグを組んで長年役員として教会を支えてきたと

います。しかしそのような喜ばしさはありつつも、財政的には非常に困難な状況が続いています。東京教区が教区活動連帯配分金

教区 コラム

これが地方教区の現実だと思いましたが、都会の教会では決して一緒にはならない者が、互いに協力し折り合いながら教会を形成する。その喜ばしさを豊かにたたえて、理由だと聞きます。謝罪すべきは謝罪したいと思えますから、どうか東京教区が豊かに持つておられるものをお分かち願えればと思います。そのお返しとして、お分かちすることのできるものを、九州教区は前述のように豊かに備えています。受け取っていただけるかどうかは別ですが…。(九州教区総会議長)



連帯金拠出留保を確認したうえで予算案を可決

消息

吉岡英世氏(隠退教師)



3月16日、逝去。80歳。京都府に生まれる。'57年同志社大学神学部大学院卒業後、新宮教会に赴任。播磨新宮、加古川東、大崎、新発田、帯広、新得の各教会を経て、'91年から琴似中央通教会を牧会し、'96年隠退した。遺族は、妻・吉岡みち子さん。

澤 東吾氏(隠退教師)



3月22日、逝去。90歳。愛知県に生まれる。'41年、明治学院卒業。'50年、横浜大岡教会に赴任、'92年に隠退するまで42年間にわたって牧会した。遺族は、妻・澤妙子さん。

石田 孝氏(浜坂教会主任)



3月31日、逝去。76歳。大阪府に生まれる。'59年、同志社大学神学部大学院卒業後、伊丹教会に赴任、福岡警固、伊丹、交野、高石の各教会を経て、'93年から浜坂教会を牧会した。遺族は、妻・石田悦子さん。

山田 忠氏(隠退教師)



4月10日、逝去。83歳。愛知県に生まれる。'53年日本基督教神学専門学校卒業後、高知教会に赴任。洗足、長崎古町、門司、池袋西の各教会を経て、上地教会を牧会し、'97年隠退。遺族は、妻・山田怜子さん。

事務局報

教師異動

広島流川 辞(担)海老原佳奈子

東中通 辞(担)滝瀬一

輪島 辞(代)内城恵

就(主)滝瀬一

金城学院 辞(教)横手征彦

岡山 辞(担)新堀真之

静岡 辞(担)伊藤瑞男

弘前 辞(担)関谷慶太

大鰐 辞(主)竹内郁夫

辞(担)竹内豊子

辞(代)竹内豊子

就(代)安達正希

浦和別所 辞(担)井上博子

聖ヶ丘 辞(担)棚村恵子

沼津大岡 辞(代)宮本義弘

就(主)平良みほ

都妻ヶ丘 辞(主)明石義信

錦林 辞(主)糸井国雄

就(主)明石義信

都農 辞(主)川崎献一

就(主)川崎献一

世真留 就(主)川崎献一

北九州復興 辞(担)湯浅つばさ

就(担)井上博子

東京神学大学 辞(神)山内真

江戸川 辞(主)甲賀道生

就(主)池田多実男

献身のとき

NOOSHIN
KENSHIN
TOKI



導きだと信じて

宗 保子(松江教会牧師)

ようには思えませんでした。

年が明けて新年の晴々とした外から一歩家に帰ると家庭の暗く沈痛な状況に直面せざるを得ません、逃げて通ることが出来なくな

題ではない。神が聖とされなければならぬ、その計画の中で、主よ用いたまえという新たな献身への思いに導かれたそうです。

私たちは模範となるようなクリスチャン夫婦でもなく、破れの多い者、子どもたちにも大切な時期でしたから、献身には反対意見もありました。しかし主が示して下さい。送り出して下さった母教会にも、教師として迎えて下さった松江教会にも、共に今日まで祈られて

支えられてきたことを深く感謝しています。盛興牧師は1996年に松江に赴任して以来、健康も支えられていきます。教会の御用の他に活動範囲も広まり教師として、また若い時から学んできた中国語を生かしたボランティアもしています。

私も2000年にCコースで就職とさせて頂きました。小さな者ですが分区内での聖餐式応援や、無牧の教会の代務者としての奉仕もさせて頂くようになりました。

今後も主のご用命であればすべては神がなさることを信じ委ねて、お仕えして行こうと思っています。

導きだと信じて早速夫に話して

聖書学校に行くことを勧め

ました。その後、夫にも

御言葉が与えられました

「わたしはイスラエルの

人々のうちにあって聖別

されたものである」(レビ

記22・32)の御言葉です。

自分は喘息患者となった

けれど、この病気を通して

神がご計画を持っておら

れる。それは自分一人の間



宍道湖をバックに、盛興牧師と

教会幼稚園融資金募集

幼稚園の土地拡張、増

改築、新築のため、幼稚園

融資金2009年度分を

次の要領で募集します。

◎金額 50万円

◎返済期限 300万円

◎返済期限 5年以内

◎利率 年1%

期限後 年2%

2009年度は600

万円を2、3の教会幼稚

園に貸し出します。希望

幼稚園は、教区事務所を

通して教団教育委員会ま

で申し込んでください。

◎締切 8月31日

融資規定、申請書は、

教育委員会へ。(TEL 03-

320210554)

訂正・お詫び

4676号、京都教区総

会報告記事の常置委員選挙

結果、竹ヶ原正輝を、竹ヶ

原政輝に、お詫びして訂正

致します。

訂正・お詫び

4676号、大阪教区総

会報告記事の常置委員選挙

結果、【信徒】の欄に、大

きな間違いがありました。

正しくは、以下の通りです。

山田淳子(大阪聖和)、鎌

田英子(玉出、東谷誠(い

ずみ)、田口省三(豊中)、

山崎喜美子(愛隣)、糸本

資(石津、江本義一(茨

木東、楠原道温(茨木)

※江本義一氏のお名前が抜

けており、また、次点者4

名を記してしまいました。

お詫びして訂正致します。

関係者の方々に、大変

ご迷惑をお掛けしました。

40周年 全国集会開催

全国教会婦人会連合、幕張メッセを会場に

地の塩世の光―教会の肢として明日の
宣教を担う―マタイによる福音書を学びつ

長い月日をかけて、祈
りつつ周到な準備がなさ
れ、また、待望されてき
た『全国教会婦人会連合
40周年全国集会』が、6
月2日(火)〜3日(水)、
幕張メッセ国際会議場を
会場にして開催された。
主題は、「地の塩 世の
光―教会の肢として明日
の宣教を担う―マタイ
による福音書を学びつ
つ」。

2日11時30分の受け付
け開始と共に、続々と人
が集まり、13時、開会礼
拝が始まった時には、既
に広い会場に人が溢れん
ばかりだった。

出席者は1,200余
名と発表された。閉会礼
拝時に司式・聖餐式・辻

参加が得られた。：数字

は何れも名簿による。

「地の塩 世の光とし

て生きる」と題した開会

礼拝説教で、篠浦千史牧

師(さや教会)は、「なり

たいでも、なれるでも、

なければならぬでもな

く『あなたがたは地の塩

・世の光である』と語ら

れている点に着目して、

説得力豊かで慰めと励ま

しに満ちたメッセージを

語った。

主題講演に当たったの

は、焼山満里子東京神学

大学講師、講師の思想信

条を披瀝するのはな



海外からのお客さまを迎えて

く、外連味なく、淡々と

聖書が述べるところを取

り次いだ。

山北宣久教団議長は、

来賓挨拶で「正典的聖書

解釈」に触れ、その姿勢

と歴史を大いに評価した

が、なるほどと肯かせる

主題講演であった。

因みに、山北議長は、

婦人会連合の40周年と、

大いに議論になっている

「荒野の40年」とを重ね

合わせ、「『荒野の40年』

の困難な時代を教会婦人

の健全な信仰が守り、支

えた」と、感謝を述べた。

続くプログラムは、「私

の発言」、8名の教会婦人

が、それぞれの掛け替え

られない。

(新報編集部報)